

ごみ軽トラ10台分回収

川底にシヨ
ベルも確認 銚子川保全会清掃活動

紀北町海山区の銚子川環境保護活動で、このほど関係12団体で発足した銚子川環境保全会（代表・松場妥銚子川漁協組合長）が8日、銚子川流域で清掃活動に取り組んだ。

加盟団体の会員や町営キャンプイン海山の利用客43人も含め128人が参加してごみ回収や草刈りに取り組んだ。昨年まで銚子川漁協が関係機関や一般参加を呼びかけ、夏休み明けの9月上旬に遊泳客が残したごみ回収など清掃活動を実施してきた。今年は環境保全会発足後初の清掃活動となった。

上流の鍋谷川猪谷えん堤までと支流の又口川の尾鷲市清掃工場付近まで約10～15キロ。数日前の台風17号の雨で河原のごみは押し流されて少なかったものの、川岸の土手や草むらにはペットボトルや空き缶、ガスコンロなどが散乱し、約3時間の作業で軽トラック10台分のごみを回収した。

平尾ぶち近くの種まき権兵衛の里駐車場付近では、焼肉用のかまどに使うため河原から持ってきた大きな石も放置されたままになっていた。回収したごみの分別と処分は地元の建設会社へ委託した。

今月始めに銚子川保全会の役員らが、河口から約8キロ上流の魚飛溪の水深約4メートルの川底にパワーシヨベルが沈

んでいるのを潜水して確認。県に引き揚げを要望した。

県尾鷲建設事務所では「こんなことは初めて。所有者を確認して引き揚げを求める。所有者が確認できなければ県が引き揚げることになる」と説明していた。

松場代表は「子どもたちが遊泳中に飛び込んでけがをする心配もあり、油が残っていたら流出する恐れもある。早急に引き揚げてほしい」と話していた。

川底のパワーシヨベルは小型ではなく、平成16年9月の台風21号豪雨の際に流されたとみられる。



草刈りなど銚子川環境保全会の清掃活動（8日、紀北町海山区便ノ山の銚子川で）

2013年 9月10日
南海日日